



# 産科のご案内

大阪急性期・総合医療センター  
4階南病棟



# 大阪急性期・総合医療センター 産科



- \* すべての妊娠・出産について、医師と助産師が共同で診察にあたっております。
- \* 妊娠経過に異常の無い方については、助産師外来を受診していただく事で、妊娠や分娩についての相談をゆっくりとさせていただく事が可能です。
- \* 分娩時はカンガルーケアを行い、母児同室で赤ちゃんとおかあさんのふれあいを大切にしています。

# 基本方針



- \* 当センターでは、より安全で、よいお産をしていただくために、産科医、助産師、新生児科医だけでなく、麻酔科をはじめとして、各診療科の協力を得て、妊娠分娩の管理にあたっております。妊婦さん自身が考えられるよりよいお産のために我々が何をできるかについて、是非ご相談ください。



# 当センターの特徴



- \* 自然分娩と母乳育児を支援しています。
- \* 無痛分娩を行っています
- \* 母子の合併症への対応は、他科と連携して支援しています。
- \* セミオープンシステムを行っています。
- \* 助産師外来、母乳外来を行っています。
- \* 母児同室をおこなっています
- \* 24時間体制で母子の救命救急に対応しています。MFICU6床完備
- \* 大阪市産後ケア事業に参加しています
- \* 助産師分娩（院内助産）を行っています



# 助産師外来



- \* 2018年4月1日に大阪府市共同 住吉母子医療センターが開院され以前はカーテン越しで行っていた助産師外来の保健指導室が個室となり、より一層プライバシーが保たれるような環境になりました。
- \* 妊娠24週から産婦人科医の許可の下りたローリスク妊婦を対象に、正常に経過するための妊娠中の生活の仕方について保健指導を行い安産に導くためのお話をしていきます。





# 助産師分娩（院内助産）



- \* 院内助産とは、緊急時の対応ができる医療機関などにおいて、正常経過の妊産婦のケアおよび助産（分娩(ぶんべん)の介助や新生児のケアも含む）を助産師が自立して行うものです。（厚生労働省HPより）
- \* 病院内にありながら、みなさんの持つ「産む力」を存分に発揮し、自然な雰囲気の中で分娩できるよう、私達助産師がサポートします！



# MFICU



- \* 当センターMFICUは6床からなり、40床の一般産科病棟とともに、大阪市南部の産科医療における基幹的役割を担っています。各部屋には遠隔でも確認可能な分娩監視装置・生体モニター等が備え付けとなっており、異常の早期発見に努めています。またそれぞれが個室であるためプライバシーにも配慮した設計になっています



# 産後ケア



- \* 2018年10月1日より、産後ケア事業をおこなっています。
- \* 産後ケアとは、退院直後に支援が必要な母子を対象にショートステイの利用を通じて、母子同室で助産師や看護師等の専門スタッフから、体と心・育児のサポートを行うことをいいます。





# たくさんの研修をおこなっています！

- \* 周産期災害訓練
- \* シミュレーション研修  
(緊急帝王切開・産科危機的出血など)
- \* J-CIMELS研修など



# 面会制限について



- \* 面会制限について・・・4階南病棟は産科病棟のため、新生児特有の感染症が発生しないよう面会制限をしています。ご協力お願いいたします。
- \* 面会時間 15:00～19:00
- \* 中学生未満の方は病棟内に入ることができません。病棟外のソファーまたは5階産後デイルームでの面会をお願いいたします。
- \* 感染症流行時はこの限りではありません。面会制限をさせていただく場合がありますのでご了承ください



分娩後2時間のみ、赤ちゃんのご兄弟の面会ができます